

令和6年度第2回我孫子市子ども・子育て会議 会議概要

1. 開催日時 令和6年7月19日（金）9：30～11：00
2. 開催場所 分館大会議室（オンライン）
3. 出席者
委員 箕輪会長、菅井副会長、鈴木委員、布施委員、小澤委員、野崎委員、
以上6名
（欠席：増田委員、菅原委員、太田委員、大島委員、松澤委員 以上5名）
市職員 星部長、石山保育課長、鈴木子ども相談課長、三澤こども発達センター所長
事務局 子ども支援課 三宅主幹、渡邊係長、成瀬主任主事
4. 議題
（1）意識調査 調査結果報告書について
（2）次期計画素案の内容について
（3）次期計画の掲載事業及び指標について
（4）我孫子市健康福祉総合計画推進協議会委員の推薦について
5. その他
6. 配布資料
資料1 第五次我孫子市こども総合計画 素案
資料2 第五次我孫子市こども総合計画 掲載事業及び指標（案）
資料3 我孫子市健康福祉総合計画推進協議会委員の推薦について
意識調査 調査結果報告書

7. 議事要旨

【事務局（三宅主幹）】（議題までは事務局が議事進行を務める）

資料の確認、出席者6名により会議の成立を報告し、議事概要作成のための録音について了承を得た。また、オンライン会議のため傍聴人なしを報告した。

【星子ども部長】

— 星部長挨拶 —

【事務局（三宅主幹）】

この後の議事進行は、我孫子市子ども・子育て会議条例第6条第1項により、箕輪会長にお願いしますが、その前に、前回会議の令和5年度実績報告で、太田委員よりいただきましたご質問について、ご回答させていただきます。

No.83 いじめ防止対策事業の令和5年度の実績が97.8%となっており、実際のいじめの件数と解消されたいじめの件数についてのご質問をいただきました。所管課である指導課に確認したところ、分母にあたるいじめの認知件数は320件です。320件のうち312件が解消されたということで、令和5年度のいじめ件数の解消率は97.8%になります。

それでは、この後の議事進行は、箕輪会長にお願いいたします。

【箕輪会長】

それでは、次第に沿って議事を進めます。

議題①「意識調査の報告書について」、事務局より説明をお願いします。

【事務局（三宅主幹）】

次期計画の策定にあたり、令和5年度に3つの市民調査を実施しました。第1弾と第2弾の調査については、これまでの会議でご報告させていただきました。本日は、令和6年1月に小学5年生と中学2年生の児童生徒とその保護者を対象に実施した意識調査について、ご報告させていただきます。

報告は、本日までご出席いただいております（株）アイアールエスの石川さんをお願いします。

【（株）アイアールエス】

— 議題① 意識調査の報告書について、説明 —

【箕輪会長】

何かご質問などはありますか。

【小澤委員】

77ページの主な意見の抜粋についてです。順位1位が(7)-⑦ 33件でその意見は掲載されていますが、2位の(9)-③29件が省かれ、3位の(3)-⑧27件と4位(2)-⑧25件が掲載されていることに疑問を感じました。その他には多数の意見が集まっていると思いますので、(9)その他-③その他を省いた理由を伺いたいと思いました。

【（株）アイアールエス】

小澤委員のおっしゃる通りだと思います。(9)その他-③その他を省いた理由としては、(9)その他-③その他は「ありがとうございます。」などのように、具体的な何かに言及していない意見も含めて29件でした。意見や要望の件数で比較しますと、他の項目より少なくなり、主な意見の抜粋としては、(3)-⑧や(2)-⑧の方が有益と判断しました。

【小澤委員】

ありがとうございます。

6位の(3)-①22件、7位の(2)-①21件の教育内容の充実と見直しについても、具体的にどのような意見や要望があったのか関心があり、機会があれば知りたいと思いました。

【(株) アイアールエス】

かしこまりました。自由記述の意見はデータがありますので、事務局と対応について検討します。

【箕輪会長】

他にご質問などはありますか。

布施委員、お願いします。

【布施委員】

小学5年生と中学2年生を調査対象とした理由はなぜでしょうか。

【(株) アイアールエス】

自治体などが実施する調査では、小学5年生と中学2年生を対象とすることが多く、その理由としては、小学6年生と中学3年生は進学準備などで忙しいため、1学年下の小学5年生と中学2年生を調査対象とすることが通例です。

【布施委員】

ありがとうございます。

生活困難度別に困窮層、周辺層、一般層と分類されていますが、小学5年生、中学2年生、学年別で保護者も分類した場合、結果は変わりますか。

【(株) アイアールエス】

調査報告書の目次をご覧ください。調査結果としては、子ども本人の回答と保護者の回答があり、報告書の構成としては、子ども本人の回答の後に、保護者の回答があります。子ども本人の回答では、生活困難度別の他に、例えば、10ページの下段のように学年別の分析もしています。また、保護者の回答では、年代別のクロス集計なども行っています。

学年別の調査結果については、そちらをご確認いただければと思います。

【布施委員】

ありがとうございます。

【箕輪会長】

他にご質問などのある方はいらっしゃいますか。

では、次の議題②「次期計画素案の内容について」に移ります。事務局より説明をお願いします。

【事務局（渡邊係長）】

— 議題② 次期計画素案の内容について、説明 —

【箕輪会長】

素案について、何かご質問などはありますか。

小澤委員、お願いいたします。

【小澤委員】

成果指標についてです。一番大きな指標として、「我孫子市は子育てしやすいまちだと思う人の割合」を増加させるという目標は、一番目指したいことなので、良い目標設定だと思いました。その下の基本目標ごとの指標については、4. 地域で子ども・若者を見守るやさしいまちの指標が「子育てについてサポートできると思うこと『特になし』と回答した人の割合」を減少させるとなっております。こちらについては、子育てしやすいまちにつながる指標なのかどうか疑問に思いました。アンケート結果で、「ちょっとした買い物を頼まれる」「子育ての相談にのる」などの回答がありますが、そういうサポートをしてくれる人が増えても、実際に頼みたいと思わないのではないかと思いました。

32ページの前計画の検証で、基本目標4 地域で子どもを見守るやさしいまちについて、アンケート調査では、子育て支援策に期待すること、重要なこととして、「犯罪から子どもを守る体制の整備」「子どもや子ども連れでも安心して外出できる環境の整備」「安全安心で快適に利用できる公園の整備」などが上位にあげられているとあります。子育て世代として同意できますので、こちらの内容を指標にさせていただく方が良いのではないかと思いました。

【箕輪会長】

ありがとうございます。事務局からご回答、ご意見などはありますか。

【事務局（渡邊係長）】

小澤委員のご意見はよくわかりましたので、少し補足で説明させていただきます。

アンケートの調査結果では、確かに「ちょっとした買い物を頼まれる」「子育ての相談に乗る」「子どもの話し相手になる」などの回答が多い結果となっています。

基本目標4 地域で子どもを見守るやさしいまちの指標を「子育てについてサポートできると思うこと『特になし』と回答した人の割合」を減少させるとした理由は、この基本目標を達成するための基本施策を推進するための事業に、例えば、コミュニティ・スクールや学校協働活動の推進、子育てサポーターの養成や防犯協議会の活動支援などを紐づけており、このような活動に参加していただけるボランティアを増やしたいということです。地域の活動に参加していただけるボランティアの方を増やすことは、地域全体で子ども・若者を見守る安全・安心なやさしいまちにつながると考え、この指標にしました。

【小澤委員】

地域の方が子育てに協力的でいてくださることは、本当にありがたいと思いますし、目標に設定することもわかります。

ただ、子ども・子育てに関するアンケートで、「我孫子市は子育てしやすいまちだと思いますか」という質問に対し、「そう思わない」と回答した方の理由に、公園の整備や子どもの居場所など、子育て環境についての意見があり、市民のニーズを感じました。

推進委員会に公園緑地課が加わり、公園の整備などに力を入れていただけるのかと期待していますが、指標についてもそのような内容にならないのでしょうか。

【箕輪会長】

ありがとうございました。事務局からご回答、ご意見などはありますか。

【事務局（成瀬主任主事）】

35ページの指標は、基本目標ごとに設定した成果指標です。公園の整備については、個別事業の指標として設定していますので、議題3で改めてご説明させていただきます。

【小澤委員】

わかりました。ありがとうございます。

【箕輪会長】

他にいかがでしょうか。鈴木委員、お願いいたします。

【鈴木委員】

湖北地区、新木地区、布佐地区では、外国人が増えていると感じています。外国人に対しても、ニーズ調査やアンケートを実施していますか。また、今後の動向としても、外国人が増えていくと

と思いますが、次期子ども総合計画の中で、外国人への支援として掲載を予定していることがあれば、お聞かせください。

【箕輪会長】

事務局、いかがでしょうか。

【事務局（渡邊係長）】

まず、アンケートについてですが、昨年実施した市民調査は、外国人も対象者に含み、実施しました。

【鈴木委員】

ありがとうございます。回答結果は日本人と外国人を分けていないという認識でよろしいでしょうか。

【事務局（成瀬主任主事）】

はい、おっしゃるとおりです。

【鈴木委員】

ありがとうございます。今後も外国人の増加が予想されますが、現在、外国人に対して、どのような支援をされているのか教えてください。

保育園や幼稚園では、事前に翻訳機を購入し、会話の際などに活用しています。教育現場においても、外国人の子どもたちが不自由なく教育を受けるために、支援していることがあれば教えてください。

【事務局（成瀬主任主事）】

教育についての支援としては、計画の中に事業を掲載していますので、次の議題2でご説明させていただきます。

生活全般の支援については、資料として取りまとめたものを現在持ち合わせておりませんので、次回の会議で回答させていただきます。

【鈴木委員】

ありがとうございます。

【箕輪会長】

委員の皆様からのご質問やご意見をお伺いして、先に議題3の説明までしていただいた方が質問しやすいように感じました。提案ですが、まず事務局に議題3までご説明していただき、議題2と議題3について、質問させていただいてもよろしいでしょうか。

【事務局（成瀬主任主事）】

承知しました。

— 議題③ 次期計画の掲載事業及び指標について、説明 —

【箕輪会長】

ありがとうございました。

これから皆様にご意見を伺いますが、どのような視点で、どのような内容の意見を述べたらよいか、まず事務局からご説明いただけないでしょうか。

【事務局（渡邊係長）】

掲載事業の内容などについては、関係各課との協議も必要になりますので、すぐに回答することはできないかもしれませんが、広くご意見を伺いたいと思います。よろしく願いいたします。

【事務局（成瀬主任主事）】

本日この場でご回答できない内容については、次回の会議でご回答させていただくということでよろしいでしょうか。

【箕輪会長】

はい。ありがとうございます。では、広くご意見を伺います。

資料1の素案、資料2の事業と指標について、皆様からご意見をいただきたいと思います。

いかがでしょうか。布施委員、お願いいたします。

【布施委員】

2点お伺いします。

まず、1点目は病児保育事業についてです。新型コロナウイルス感染症が5類に移行された後も、体調不良などでお子さんが登園できない際に、仕事が休めず、困っている保護者がいらっしゃると思います。病児保育事業については指標を設定しないのでしょうか。

2点目はNo.58 利用したくなる公園の整備についてです。指標は面積で設定されていることがわかりました。いくつか公園を見てきまして、ボールを使えない公園が多いように感じました。また、

遊具の更新なども含め、我孫子市として、公園の整備について、どのように考えていらっしゃるのか伺いたいと思いました。

【事務局（成瀬主任主事）】】

まず、1点目の病児保育事業については、資料2にはありませんが、指標を設定し、1-1 子ども・子育て支援事業に掲載します。

2点目については、いただいたご意見を公園緑地課にお伝えし、ご回答させていただきます。

【箕輪会長】

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

【小澤委員】

我孫子市で暮らしている中で、他市との違いとして、我孫子市には児童館や児童センターがなく、子どもの居場所が少ないと感じています。あびっ子クラブや子育て支援センターを整備していただいているのですが、休日に家族で過ごすことはできませんし、また、公園も子どもの居場所ではありませんが、夏は暑くて遊ぶことができません。子どもの居場所が少ないという印象を持っているので、何か新たな事業やお考えなどがあれば伺いたいと思いました。

【箕輪会長】

事務局からいかがでしょうか。

【星部長】

ご指摘のとおり、我孫子市には児童館がなかったため、先進的に、小学校にあびっ子クラブを整備してきました。今のところ、新たに児童館などの施設を建設する予定はありません。土曜日のあびっ子クラブについては、利用者が少ないことなど、さまざまな要因を考慮した上で、令和5年度より閉室としました。こちらはアンケートなどにより、利用者のニーズを把握しながら、対応していきます。また、子育て支援センターの中では、アビクオーレの中にあるにこにこ広場が広いので、予算に限りはありますが、利用者のニーズに応じた対応を検討していきます。

【小澤委員】

ご回答ありがとうございます。

あびっ子クラブは子どもだけで過ごす場所なので、児童館などのように、家族みんなで過ごすことができる場所とは種類が違うと思います。また、土曜日のあびっ子クラブの利用が少ないからといって、休日に児童館などで過ごす家族が少ないということにはならないと思います。

子育て支援センターの対象は、未就学児が基本になっていますので、特に、小学生の居場所が少ないと感じています。

児童館の建設は難しいかもしれませんが、近隣センターや公民館の中に、子どもの居場所となるスペースを作っていただけたらと思いました。

【箕輪会長】

ありがとうございます。野崎委員、いかがでしょうか。

【野崎委員】

私は、市民活動で、不登校や行きしぶりの子どもたちとの時間を作っています。近隣センターやアビスタなどを使って、平日学校に行くことができず、家にこもって孤立しがちな子どもたちとカードゲームをしたり、遊んだりしています。我孫子ショッピングプラザの中の我孫子市民プラザが利用しやすいのですが、利用料をみんなで負担している状況なので、学校に行けない子どもたちが過ごせる場所があるといいと感じています。

【箕輪会長】

事務局からご回答がございませうか。

【事務局（成瀬主任主事）】

我孫子市としては、児童生徒の居場所や教育を受ける場所として、教育支援センターを設置しています。校内教育支援センターの設置を進めており、令和6年4月現在、中学校6校、小学校6校に設置されています。残りの小学校についても、設置を目指しているところです。

【箕輪会長】

野崎委員、今の事務局の回答に対して何かございませうか。

【野崎委員】

校内教育支援センターが小学校にも増え、ありがたいと思っています。自分の教室には入れなくても、学校には通うことができるので、これからもよろしくお願ひします。

【箕輪会長】

ありがとうございます。菅井委員、いかがでしょうか。

【菅井委員】

No.65 二十歳成人式についてです。学生たちも住んでいる自治体によって、18歳で成人というところや20歳で成人式など、さまざまな動きがあるようです。我孫子市では二十歳成人式ということで、18歳をどのように位置づけられているのか教えていただいてもよろしいでしょうか。

【事務局（渡邊係長）】

我孫子市では、民法改正に伴い、成人式について検討した結果、20歳の方を対象として、二十歳成人式を開催することになっています。

【箕輪会長】

菅井委員、今の事務局の回答に対して何かございますか。

【菅井委員】

18歳で成人を迎えることになり、成人としての心構えや責任などについて伝えてほしいというお話もありますので、人生における一つの節目と捉え、我孫子市として、何か取り組みがあればお伺いしたいと思いました。

【事務局（成瀬主任主事）】

いただいたご意見を担当課に伝え、次回会議でご回答させていただきます。

【箕輪会長】

他にいかがでしょうか。

【小澤委員】

先ほどご回答いただいた件についてです。アビクオーレの中にある子育て支援センターは面積が広いというお話でした。普段は未就学児を対象とした施設ですが、例えば、土曜日や日曜日に限り、小学生まで一緒に遊ぶことができるよう、もう少し幅広い年齢層の子どもの居場所として運用することを検討していただけないでしょうか。

【石山保育課長】

子育て支援センターは、きょうだいであれば、一緒に遊ぶことができます。

0歳からの小さなお子さんもいますので、注意して遊んでいただければと思います。

【小澤委員】

ご回答ありがとうございます。

小学生も入ることはできますが、小さいお子さんに遠慮してしまい、結局自由に遊ぶことができない状況です。例えば、月に数日で構いませんので、部屋を分け、小学生も体を動かして遊具などで自由に遊べる日などがあればいいと、小学生の子どもを持つ親としては思いました。

【箕輪会長】

他にいかがでしょうか。

それでは、私からもご質問させていただきます。

我孫子市の総合計画と子ども総合計画の関係についてです。総合計画の期間は令和4年度からのようですが、総合計画から子ども関連、子ども・若者関連で新たに入れられる視点や事業について教えていただけますでしょうか。

この計画も総合計画に即していますので、一番上にはこういう都市でありたいという大きな目標があります。昨年度に実施したアンケートは子どもと保護者を対象としていましたが、これから結婚して子どもを持ちたいという希望や若者の考えなどについても、総合計画策定時のアンケートでは調査していると思います。将来的に子どもを持ちたいと考えている方を我孫子市としてどのようにサポートしていこうと考えているのかお聞かせいただきたいと思いました。

【事務局（渡邊係長）】

素案の3ページに総合計画を含む関連計画との関係を示していますが、総合計画の基本目標や基本施策との関係性がわかる詳細な資料を次回会議の際に準備し、ご説明させていただきます。

【箕輪会長】

ありがとうございます。

別の自治体の総合計画審議会の委員をしております、そこでは、子ども・子育て会議に対し、総合計画との関係性や施策との関係性などについてのご説明をいただきました。子ども・若者計画を含む次期計画と総合計画との関係はより深まると思いますので、我孫子市のビジョンがわかるようなご説明をいただきたいと思います。

次に、現在の支援についてです。委員の意見からも、就学前のお子さんや子育て家庭に対する支援は手厚く、また、児童生徒に対しても、あびっ子クラブが全校に設置されたり、校内教育支援センターの設置が進んだり、充実してきていると思います。

就学後の子どもの居場所や地域のサポートについては検討していく必要があるように感じました。アンケートで、地域で子育てについてサポートできると思うことは「特にない」と回答した方

が3割近いという結果でしたが、この結果は女性の就業率の上昇や就業時間の増加によるもので、自分の家庭のことだけで精一杯、他の家庭のお手伝いまでは手がまわらないということだと思いません。共働きの家庭と就業していない家庭で、割合の違いがあるかなども比較していただければと思います。

子育てサポーター養成講座を実施していただいておりますが、養成講座よりもう少し身近なところで支援できる方もいらっしゃると思いますので、今子育てをしていない方や子育てが終わりつつある方が地域でどのように子ども・若者を見守っていけるのかということを考える必要があると思います。

野崎委員の不登校の子どもたちの居場所を作るという活動は、地域で子ども・若者を見守る活動だと思えます。教育支援センターを設置していただいておりますが、そこにも通うことができないお子さんもいます。もっと別の居場所がほしいお子さんもいると思いますので、小学生や中学生が過ごす場所をどのように考えるかということにも目を向けていただく必要があると思います。

また、鈴木委員がおっしゃられたように、外国にルーツのあるお子さんについては、お子さんの言葉の支援だけではなく、保護者も困っているケースがあることを考え、支援する必要があると思います。貧困対策についても、貧困の背景にはさまざまな要因があると考えられますので、もう少しご検討いただき、事業に反映させていただけたらと思います。

予算もあり、できる事業とできない事業があると思いますが、ご検討いただき、次回の会議でご回答いただければと思います。

その他ご意見などがあれば、7月28日（日）までに事務局へメールでお伝えください。よろしくお願いいたします。

それでは、続きまして、議題4 我孫子市健康福祉総合計画推進協議会委員の推薦について、事務局よりご説明をお願いします。

【事務局（成瀬主任主事）】

— 議題④ 我孫子市健康福祉総合計画推進協議会委員の推薦について、説明 —

【箕輪会長】

ありがとうございます。

どなたか立候補される方はいらっしゃいますか。もしいらっしゃらなければ、事務局案として、引き続き、布施委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、子ども・子育て会議といたしましては、布施委員を推薦します。布施委員、ひとことご挨拶をお願いします。

【布施委員】

引き続き引き受けさせていただきます。より良い市をつくるために貢献できたらと思います。

【箕輪会長】

ありがとうございました。どうぞよろしく願いいたします。

次第3 その他については、何かございますでしょうか。

ないようですので、本日予定していた議題はすべて終了となります。これで、令和6年度第2回我孫子市子ども・子育て会議を閉会します。長時間にわたりおつかれさまでした。次回会議は、9月29日（日）午前中です。よろしく願いいたします。

～ 終了 ～